

令和2年8月26日

関係各位 殿

公益財団法人日本バドミントン協会  
選手強化本部

## 2021年国際大会自費参加基準 及びエントリーに関するお知らせ

平素より、本会事業にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、令和2年度全日本総合バドミントン選手権大会が従来と異なる形で実施されることを受け、2021年海外自費派遣に関しては特例措置として出場資格の一部を変更し以下の通りとすることをご連絡いたします。

なお、2021年の全体発表に関しては10月下旬発表を予定しております。

### 記

#### 【2021年特例措置の主な内容】

#### I 出場資格

(1) 令和2年度全日本総合バドミントン選手権大会の実施方法が従来と異なるため、2020年5月発表のランキングによって出場資格を決めることとする。

2021年については、当該基準の日本ランキングで各種目64位以内にいる者に出場を許可し資格を与える。

但し、怪我、病気等によりエントリーできなかった有資格者も許可する。

また、選手強化本部長の判断により、資格外の特例を認める場合がある。

(2) 大会エントリーの上限はエントリーしようとする国際大会を基準日として、過去52週間で下記のとおり許可する。

ランキング8位以内：10大会

ランキング16位以内：8大会

ランキング17位以下：6大会

ランキング33位以下：4大会

(国内開催の国際大会は対象外とする)

(3) 当該種目以外のエントリーは認めない。但し、有資格者同士のダブルス、混合ダブルスにおいては組み替えを認め、両者とも2020年5月時点の日本ランキングが64位以上なら可能。

出場可能大会数については、2名のランキングのいずれか低い順位をもって決定する。

日本代表選手（ナショナルチーム）については当該種目以外でも、選手強化本部長の判断によりエントリーを認めることとする。

(4) 若手選手育成強化策の一環として、2019年・2020年ジュニアナショナルチーム代表（U19）選手については、令和2年度全日本総合バドミントン選手権大会の出場有資格者でなくても、2021年1月1日から12月末までの1年間に限り、エントリーを認めることとする。

また、22歳以下（2021年4月1日現在）の有資格者は当該種目以外でも、シングルス、ダブルス、混合ダブルスへのエントリーを認める。但し、ペアはどちらも有資格者で22歳以下であること。

以 上